



第104期 中間報告書

2007年4月1日～2007年9月30日



代表取締役社長

原口史郎

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成19年9月30日をもちまして第104期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに中間報告書をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「お客様に信頼される新しい価値の創造と環境にやさしい社会に貢献する企業を目指す」を経営理念に掲げ、自動車及び産業・建設機械用熱交換器のトップメーカーとしてお客様の信頼を獲得してまいりました。

これからも業界をリードする品質の高い商品造りを通して社会に貢献するとともに、株主の皆様のご支援にお応えすべく、業績の更なる向上に努めてまいり所存でございます。

当中間期の配当につきましては、安定的な配当を継続するとともに、企業体質の強化や将来の事業展開に備えるための内部留保の確保等を総合的に勘案し、1株につき3円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業活動の成果

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰が長期化傾向にあるものの企業収益の改善による設備投資の増加や個人消費の持ち直しにより、景気は緩やかながらも引き続き回復傾向を示しました。

一方海外においては、米国経済に陰りがあるものの、アジア、中国では引き続き好調に推移しました。

当社グループの主要市場でありますトラック業界では、排ガス規制対応の買替需要が収束し、生産台数、国内販売は前年同期を下回りましたが、輸出については、前年を上回る水準で推移しました。

また、産業・建設機械業界におきましては、民間設備投資の増加や欧州・アジアを中心とした海外需要の増加により、生産台数は前年を上回る結果となりました。

このような状況のなかで当社グループの業績につきましては、クリーンディーゼル車に搭載されるEGRクーラー、インタークーラー、SCRタンク等の売上の拡大により、売上高は157億80百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

利益面では、トクピア川崎ビルの売却に伴う賃貸料収益の減少や金属材料を中心とした原材料価格の高騰などの影響により、営業利益8億45百万円（前年同期比29.4%減）、経常利益8億90百万円（前年同期比24.4%減）、中間純利益5億34百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

なお、昨年5月に制定いたしました内部統制システムの構築に関する基本方針に基づき、「TRS行動規範」の制定・周知及び内部通報制度（TRSホットライン）の創設、コンプライアンス委員会並びにリスク管理委員会の設置、情報セキュリティ管理体制の構築などを行い全社的な内部統制システムの構築に取り組みました。

通期の見通し

国内景気は企業収益の改善により回復傾向が続くものと見込まれます。

しかしながら一方ではサブプライム問題に端を発する米国経済の減速や原材料価格の動向など懸念材料もあり、先行きは不透明な状況が続くものと思われまます。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、排ガス規制に対応するための買替需要の反動により、トラック国内需要の減少が見込まれますが、世界的なディーゼル車の需要動向は今後も高水準で推移するものと思われまます。

また産業・建設機械につきましては引き続き国内需要、輸出ともに堅調に推移するものと思われまます。

当社グループは、下半期におきましても熱交換器の専門メーカーとして市場トレンドに基づく先行開発力の強化、信頼される製品品質の実現、環境対応製品を中心とした売上高の拡大に取り組んでまいり所存であります。

平成20年3月期の連結業績につきましては、平成19年5月14日に発表いたしました売上高304億円、経常利益15億50百万円、当期純利益8億円を見込んでおります。

中間財務諸表（連結）

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

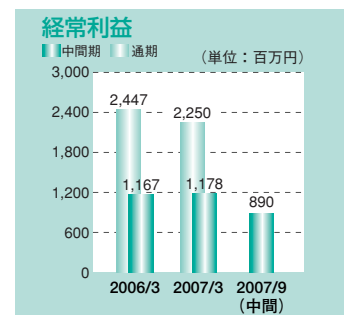
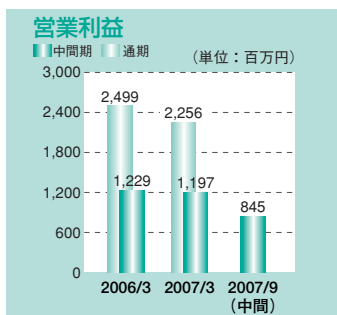
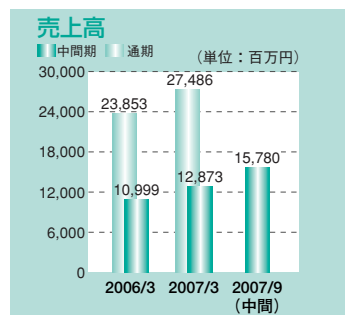
科目	期別		
	当中間期 (平成19年 9月30日現在)	前中間期 (平成18年 9月30日現在)	前期 (平成19年 3月31日現在)
資産の部			
流動資産	14,276,223	11,774,936	13,518,962
固定資産	9,002,876	16,738,868	9,571,391
有形固定資産	7,828,088	15,748,253	8,377,132
無形固定資産	77,222	85,704	76,104
投資その他の資産	1,097,564	904,911	1,118,154
資産合計	23,279,099	28,513,805	23,090,353
負債の部			
流動負債	12,451,675	15,035,193	12,937,677
固定負債	115,168	5,214,438	115,950
負債合計	12,566,844	20,249,631	13,053,627
純資産の部			
株主資本	9,778,029	7,719,365	9,286,464
資本金	1,317,600	1,317,600	1,317,600
資本剰余金	778,300	778,300	778,300
利益剰余金	7,686,387	5,627,636	7,194,780
自己株式	△4,257	△4,171	△4,216
評価・換算差額等	588,920	329,668	481,567
その他有価証券評価差額金	364,916	259,690	342,783
為替換算調整勘定	224,003	69,978	138,783
少数株主持分	345,304	215,140	268,694
純資産合計	10,712,255	8,264,174	10,036,726
負債純資産合計	23,279,099	28,513,805	23,090,353

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	期別		
	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	15,780,697	12,873,429	27,486,377
売上原価	13,832,905	10,651,470	23,306,025
売上総利益	1,947,792	2,221,958	4,180,352
販売費及び一般管理費	1,101,880	1,024,600	1,923,504
営業利益	845,912	1,197,358	2,256,847
営業外収益	69,692	22,443	70,649
営業外費用	24,921	41,634	77,309
経常利益	890,682	1,178,167	2,250,188
特別利益	—	—	1,737,417
特別損失	9,181	46,677	88,662
税金等調整前中間（当期）純利益	881,501	1,131,490	3,898,944
法人税、住民税及び事業税	133,707	354,318	3,147,929
法人税等調整額	157,181	16,757	△1,657,598
少数株主利益	55,839	22,404	60,293
中間（当期）純利益	534,772	738,009	2,348,319

連結財務ハイライト



中間連結株主資本等変動計算書 当中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	1,317,600	778,300	7,194,780	△4,216	9,286,464	342,783	138,783	481,567	268,694	10,036,726
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△43,165		△43,165					△43,165
中間純利益			534,772		534,772					534,772
自己株式の取得				△41	△41					△41
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						22,133	85,219	107,353	76,610	183,963
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	491,606	△41	491,565	22,133	85,219	107,353	76,610	675,529
平成19年9月30日残高	1,317,600	778,300	7,686,387	△4,257	9,778,029	364,916	224,003	588,920	345,304	10,712,255

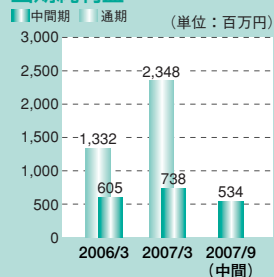
中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：千円）

科目	期別	当中間期	前中間期	前 期
		（平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで）	（平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで）	（平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,169,448	1,482,301	△35,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,209,797	△876,764	6,731,865
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,183,508	△622,025	△6,202,039
現金及び現金同等物に係る換算差額		23,669	△3,678	9,677
現金及び現金同等物の増減額（△減少）		△172,068	△20,166	503,837
現金及び現金同等物の期首残高		837,803	333,966	333,966
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高		665,735	313,799	837,803

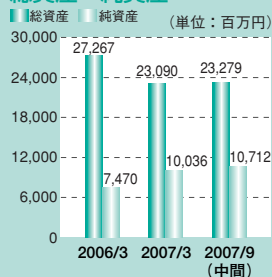


EGRクーラー

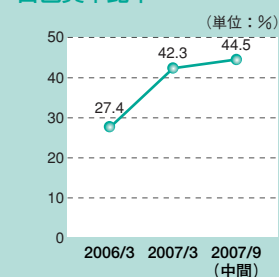
当期純利益



総資産・純資産



自己資本比率



会社情報

会社概要 (平成19年9月30日現在)

社名	東京ラジエーター製造株式会社
英文社名	TOKYO RADIATOR MFG. CO., LTD.
設立	1938年10月15日
資本金	13億1,760万円
従業員数(連結)	726名
事業所	本社・藤沢工場 〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1 電話 0466-87-1231 (代表)
営業品目	〈熱交換器〉 ラジエーター、オイルクーラー、 インタークーラー、EGRクーラー 他 〈車体部品〉 燃料タンク、SCRタンク、オイルパン、 バキュームタンク 他
連結子会社	株式会社トーシンテクノ 無錫塔爾基熱交換器科技有限公司 重慶東京散熱器有限公司

役員状況 (平成19年9月30日現在)

代表取締役社長 執行役員社長	原 口 史 郎	執行役員	辻 修
常務取締役 執行役員	田 宮 国 興	執行役員	川 上 剛
取締役 執行役員	野 尻 文 雄	執行役員	木 村 敏 雄
取締役 執行役員	西 村 重 幸	執行役員	村 田 敬
取締役 執行役員	日 貝 良 一	執行役員	半 田 邦 夫
常勤監査役	鷺 澤 和 彦		
監査役 (社外監査役)	秋 山 照 美		
監査役 (社外監査役)	君 山 教 明		

株式情報

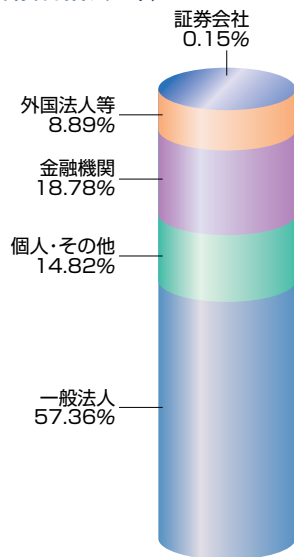
株式の状況 (平成19年9月30日現在)

- ◆発行可能株式総数 … 43,200,000株
- ◆発行済株式総数 …… 14,400,000株
- ◆1単元の株式数 …… 100株
- ◆株主総数 …………… 1,191名

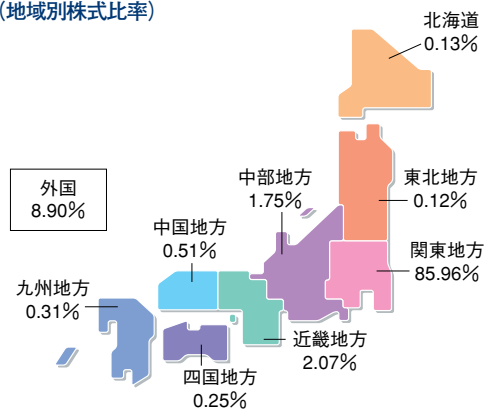
◆大株主

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
カルソニックカンセイ株式会社	5,770	40.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	762	5.29
いすゞ自動車株式会社	675	4.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	605	4.20
ピーエヌビーパリバセキュリティーズサービス ルクセンブルグジャスデックセキュリティーズ	552	3.83
山崎金属産業株式会社	525	3.64
佐藤商事株式会社	501	3.47
クレディットバンクエスエイルルクセンブルグ シリウスファンド・ジャパンオパチュニティズサブファンド	498	3.46
日新火災海上保険株式会社	480	3.33
株式会社みずほコーポレート銀行	300	2.08

◆株式の分布状況 (所有者別株式比率)



(地域別株式比率)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
	なお、中間配当を実施するときの株主確定日は 9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告の方法	電子公告
	ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告します。
公告掲載URL	http://www.tokyo-radiator.co.jp/

ホームページについてのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとした
様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



<http://www.tokyo-radiator.co.jp/>

TRSR 東京ラジエーター製造株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1
TEL 0466-87-1231（代表）

R100

